福岡市中小企業サポートセンター　経営支援施策普及事業アンケート

結果報告書（令和8年6月～9月）

福岡市中小企業サポートセンター

１．調査の概要

1 調査の概要

(1)調査名称　：福岡市中小企業サポートセンター　経営支援施策普及事業アンケート
(2)調査対象　：中小企業・小規模事業者
(3)調査方法　：郵送
(4)調査期間　：令和8年6月～令和8年9月
(5)有効回答数　：245 件(令和7年度同期:126 件)

2 回答者属性

業種	件数	割合
建設業	49	20.0%
卸売業	12	4.9%
小売業	32	13.1%
運輸・倉庫業	4	1.6%
製造業	8	3.3%
飲食店	31	12.7%
不動産業	12	4.9%
サービス業	62	25.3%
娯楽業	0	0.0%
宿泊業	4	1.6%
その他	31	12.7%
無回答	0	0.0%

業歴	件数	割合
1 年未満	3	1.2%
1年以上5年未満	42	17.1%
5年以上 10 年未満	44	18.0%
10 年以上 20 年未満	49	20.0%
20 年以上	106	43.3%
無回答	1	0.4%

※小数点第2位を四捨五入しており、合計が 100%とならない場合がある。

3 まとめ

○**1年前の同時期と比較した売上高**については、「増加している」「やや増加している」が 31.2%で前年度を下回る一方、「減少している」「やや減少している」は 36.2%と前年度を上回っており、昨年度よりも売上高の減少を感じている事業者が増加している。**仕入価格**については、「上がっている」「やや上がっている」が 87.6%となっており、昨年度に引き続き仕入価格の上昇が続いている。一方で、**販売価格**については「あまり変わらない」「やや下がっている」「下がっている」が 52.9%と、多くの事業者において十分な価格転嫁が進んでいない状況がうかがえる。

○**資金繰り**については、「うまく行っている」「比較的順調だ」「特に問題ない」が 34.3%となっている一方、「やや心配がある」「厳しい状況だ」が 65.7%を占めており、資金繰りを厳しく感じている事業者が引き続き多い状況にある。

○**景況感**については、「良い」「やや良い」が 7.4%にとどまる一方、「やや悪い」「悪い」が 59.5%となっており、景況感が悪いと感じている事業者が昨年度よりも増加している。景気の先行きについても、「かなり心配である」「やや心配である」が 76.3%と、経済状況の先行きに対する不安感が高まっている。

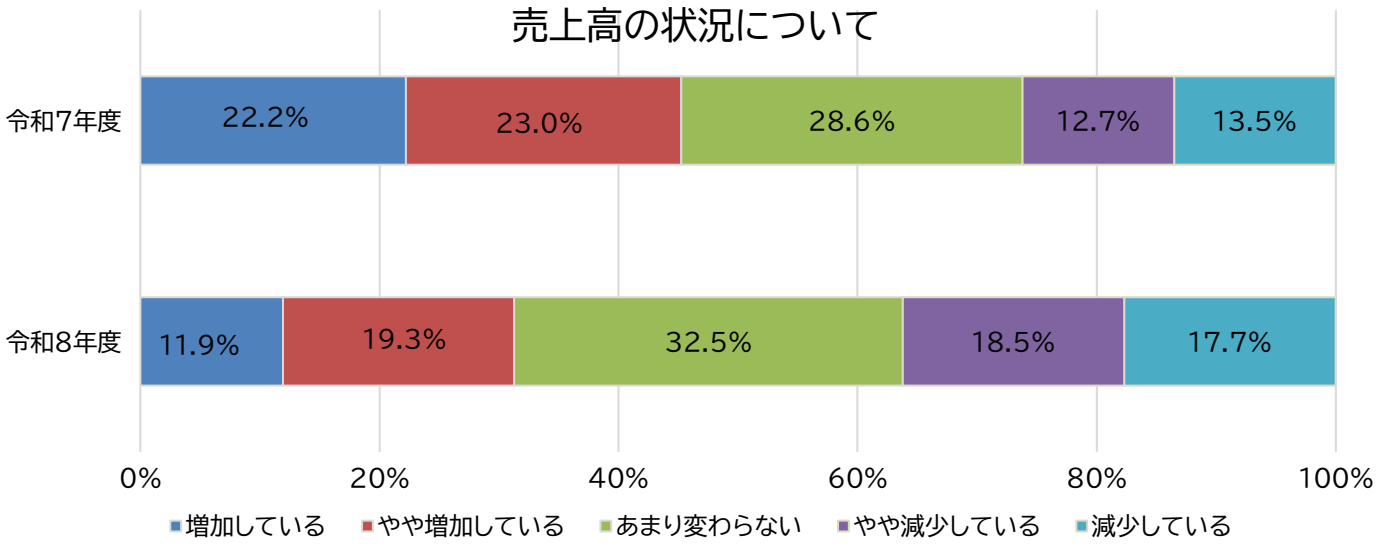
○**必要な人手の確保**については、「十分確保できている」「確保できている」が 68.7%と前年度を上回っている。一方で、人材確保の課題としては「求人を出しても人が集まらない」が 57.4%と昨年度より急増しており、人手確保の状況は改善しているものの、採用環境は依然として厳しい状況にある。

○**国際情勢の変化による影響**については、「悪影響がある」が 61.0%となっており、その要因として「中東地域の情勢不安」が最も多く挙げられている。また、具体的な影響としては「仕入価格や原材料費の高騰」が最も多く、国際情勢の変化が事業者の経営コストに影響を及ぼしている状況がうかがえる。

2. 調査内容

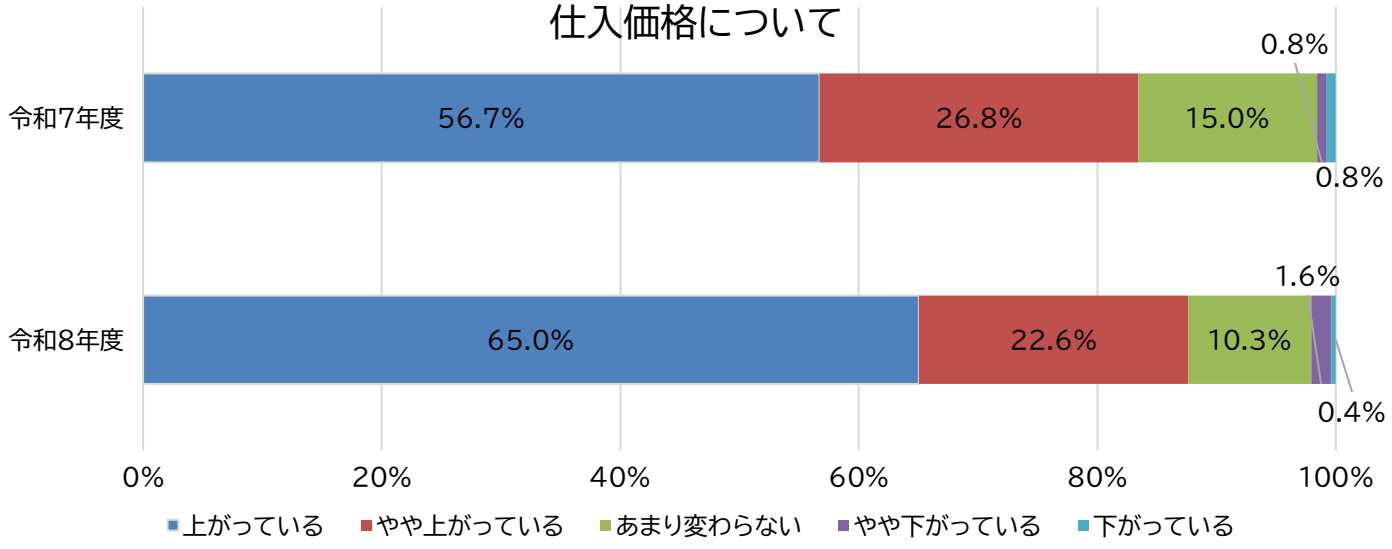
(1)【売上高】1年前の同時期と比べ、売上高の状況はいかがですか。

○最も多かったのは、「あまり変わらない」の 32.5%。
○「増加している」「やや増加している」を合わせると 31.2%で、前年度比 14 ポイント低下している。
○「減少している」「やや減少している」を合わせると 36.2%で、前年度比 10.0 ポイント上昇している。



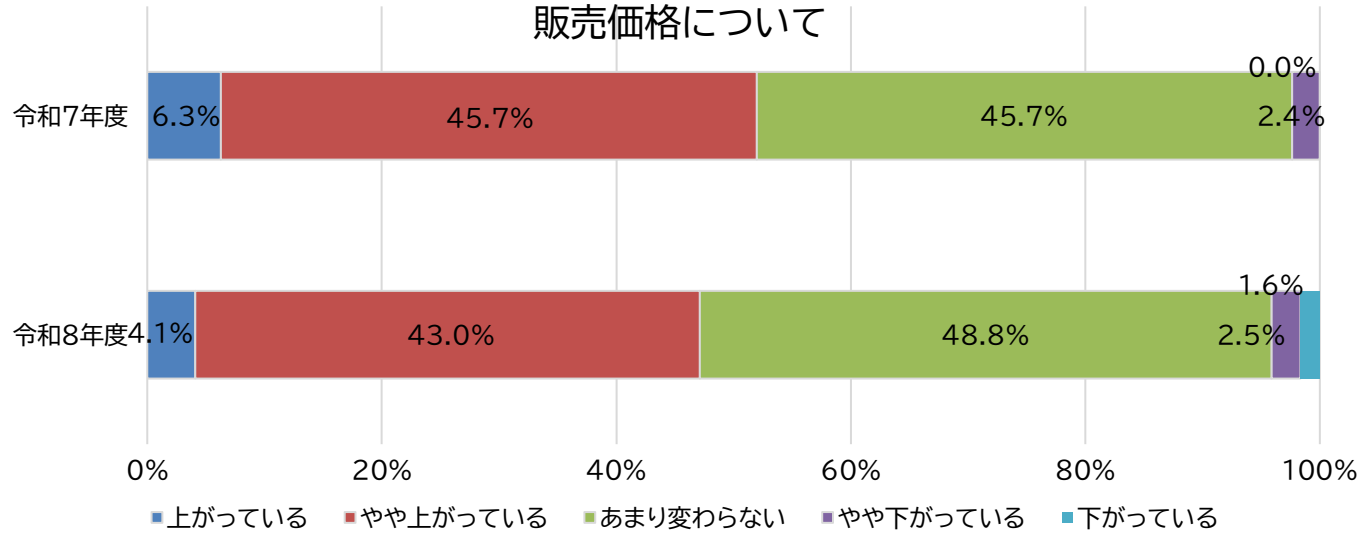
(2)【仕入価格】1年前の同時期と比べ、仕入価格は上がっていますか。

○最も多かったのは、「上がっている」の 65.0%。
○「上がっている」「やや上がっている」を合わせると 87.6%で、前年度比 4.1 ポイント上昇している。



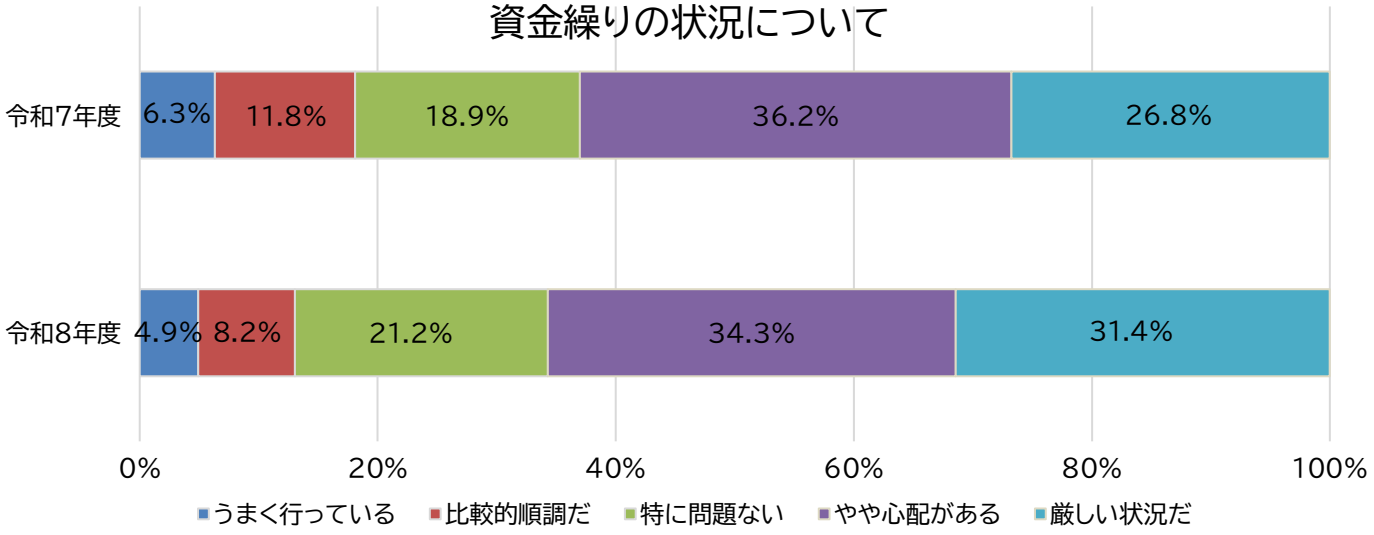
（3）【販売価格】1年前の同時期と比べ、販売価格は上がっていますか。

○最も多かったのは、「あまり変わらない」の 48.8%。
○「上がっている」「やや上がっている」を合わせると 47.1%で、前年度比 4.9 ポイント低下している。



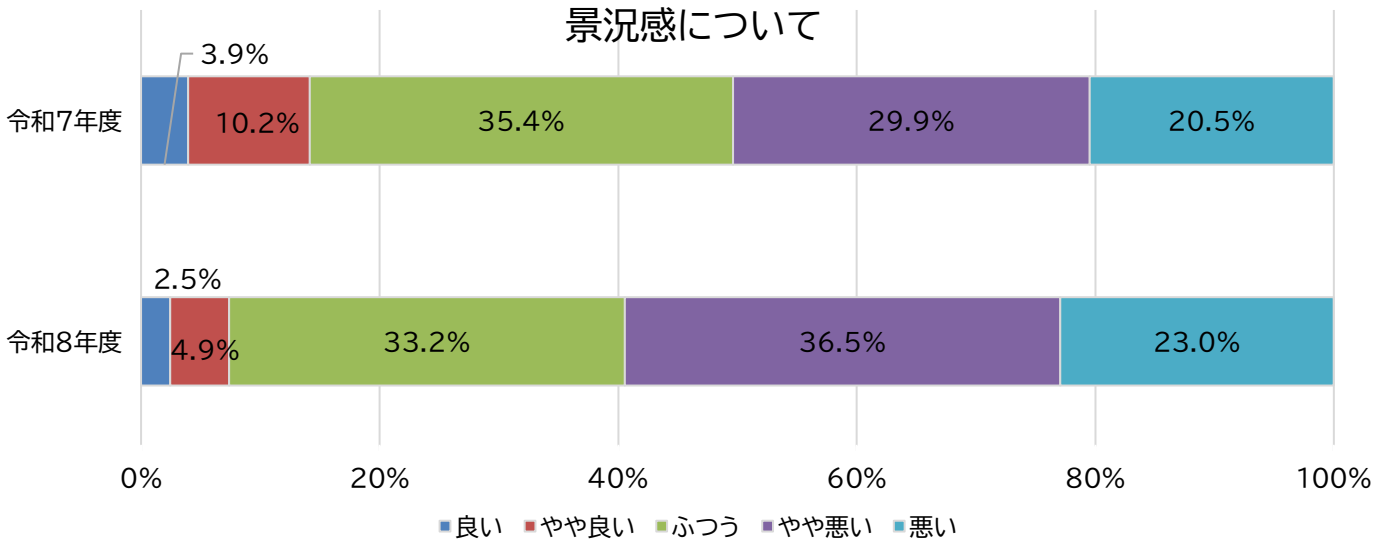
（4）【資金繰り】資金繰りの状況はいかがですか。

○最も多かったのは、「やや心配がある」の 34.3%。
○「うまく行っている」と「比較的順調だ」を合わせると 13.1%で、前年度比 5.0 ポイント低下している。
○「やや心配がある」と「厳しい状況だ」を合わせると 65.7%で、前年度比 2.7 ポイント上昇している。



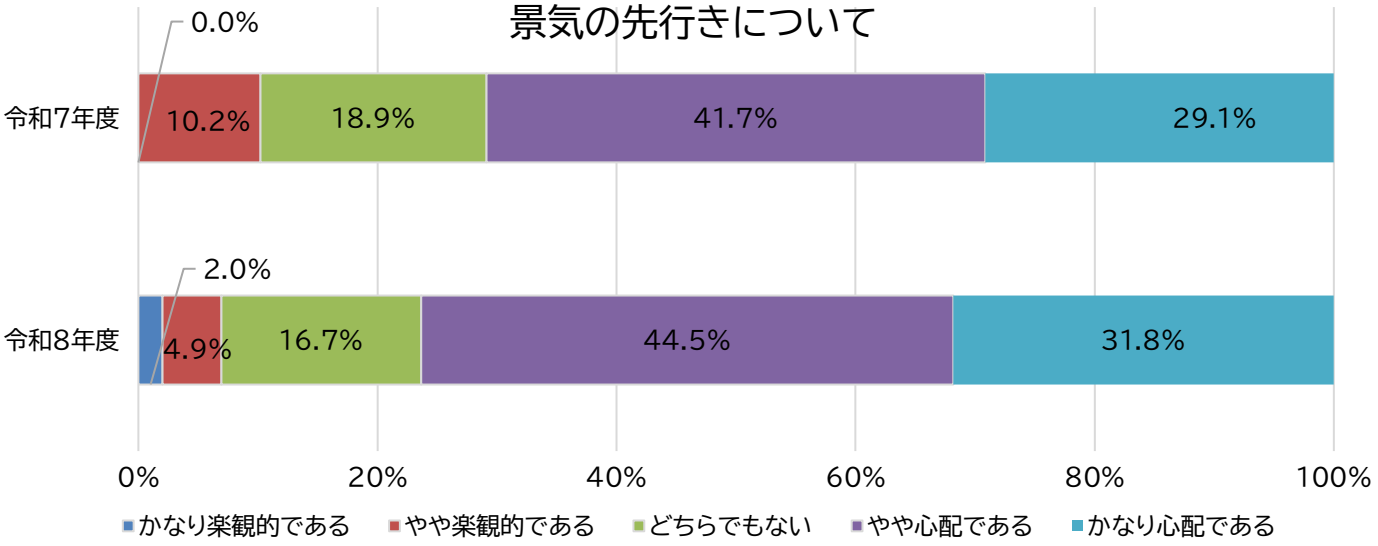
(5)【景況感】景況感を教えてください。

○最も多かったのは、「やや悪い」の 36.5%。
○「良い」「やや良い」を合わせると 7.4%で、前年度比 6.7 ポイント低下している。
○「悪い」「やや悪い」を合わせると 59.5%で、前年度比 9.1 ポイント上昇している。



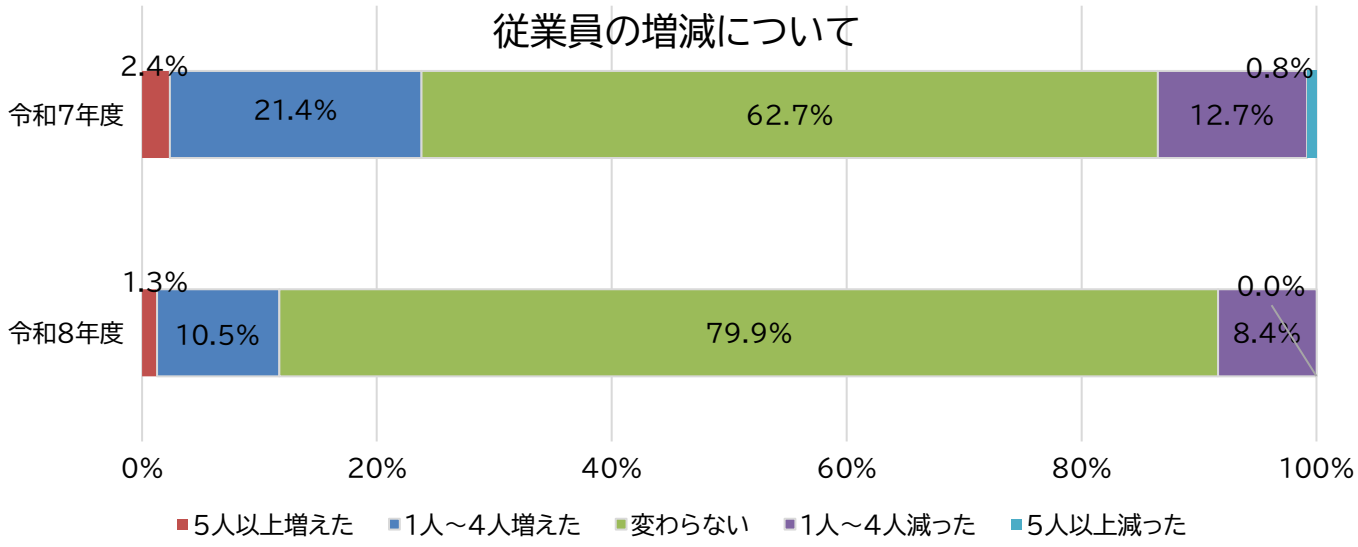
(6)【景況感】景気の先行きについてどのように予想されますか。

○最も多かったのは、「やや心配である」の 44.5%。
○「かなり心配である」「やや心配である」を合わせると 76.3%で、前年度比 5.5 ポイント上昇している。



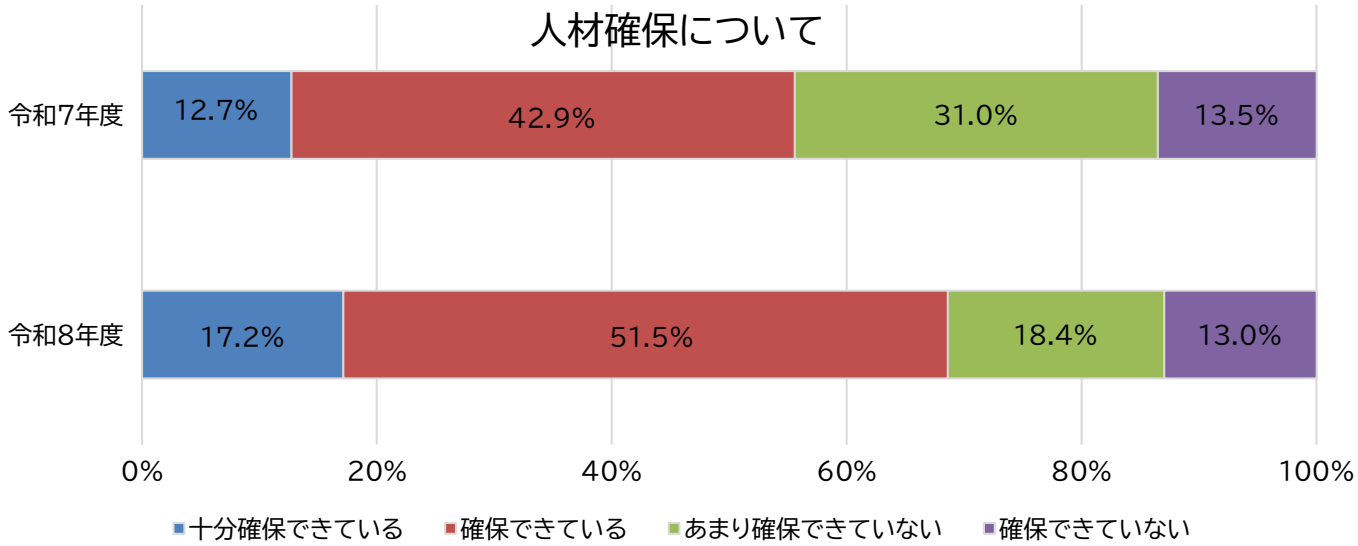
(7)【人手】1 年前の同時期と比べ、従業員の増減を教えてください。

○最も多かったのは、「変わらない」の 79.9%。
○「5人以上増えた」「1～4人増えた」を合わせると 11.8%である。
○「1～4人減った」「5人以上減った」を合わせると 8.4%である。



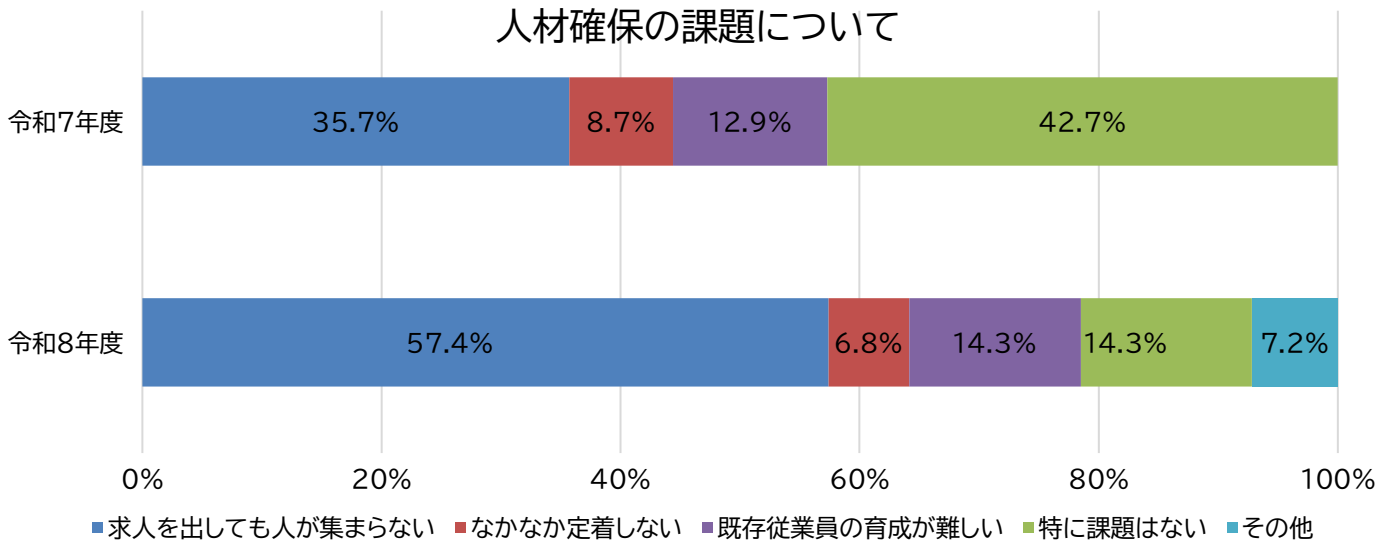
(8)【人手】現状、必要な人手(従業員)は確保できていますか。

○最も多かったのは、「確保できている」の 51.5%。
○「十分確保できている」「確保できている」を合わせると 68.7%で、前年度比 13.1 ポイント上昇している。
○「あまり確保できていない」「確保できていない」を合わせると 31.4%で、前年度比 13.1 ポイント低下している。



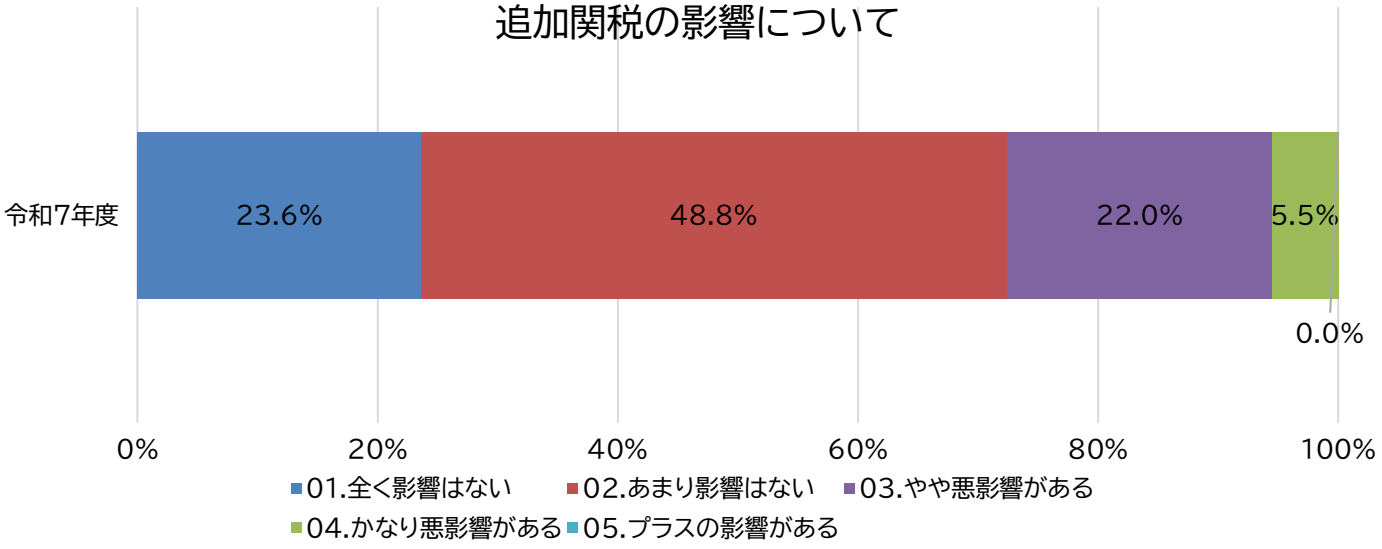
(9)【人手】人材の確保について課題に感じている点は何ですか。

○最も多かったのは、「求人を出しても人が集まらない」の 57.4%。
○「求人を出しても人が集まらない」「なかなか定着しない」「既存従業員の育成が難しい」を合わせると 78.5%で、前年度比 21.2 ポイント上昇している。



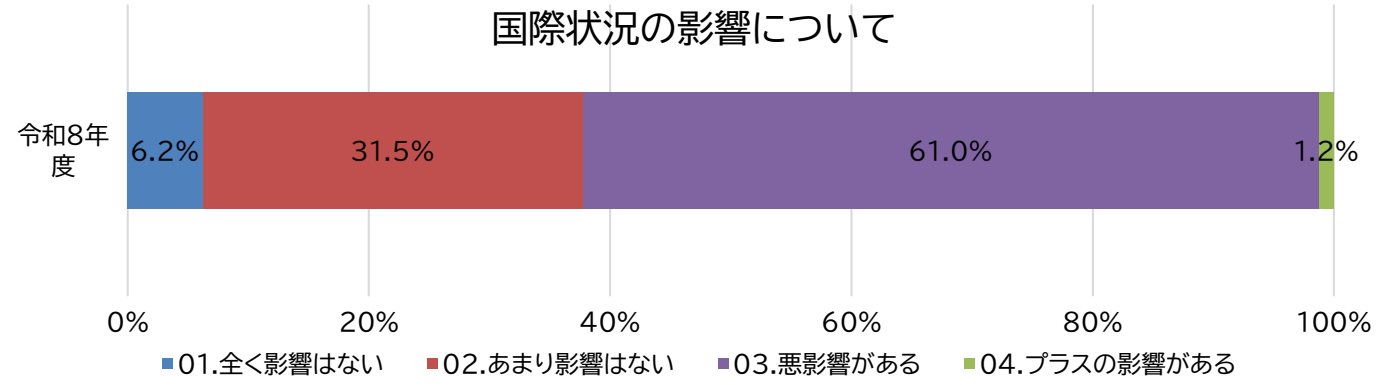
(10)【景況感】米国の追加関税の影響はありますか。(令和7年度のみ)

○最も多かったのは、「あまり影響はない」の 48.8%。
○「全く影響はない」「あまり影響はない」を合わせると 72.4%である。



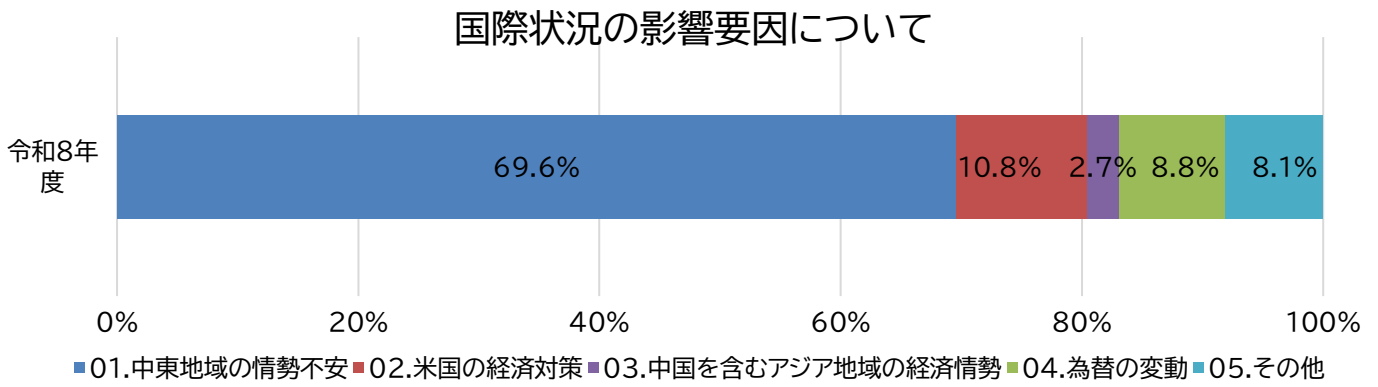
(11)【景況感】国際情勢の変化による影響はありますか。(令和8年度のみ)

○最も多かったのは、「悪影響がある」の 61.0%。



(12)【景況感】影響の要因として当てはまるものをお答えください。(令和8年度のみ)
※(11)で悪影響があると回答した方

○最も多かったのは、「中東地域の情勢不安」の 69.6%。
○次いで、「米国の経済対策」が 10.8%、「為替の変動」が 8.8%となっている。



(13)【景況感】(11)の影響として、具体的にはどのような影響がありますか。(令和8年度のみ)
※(11)で悪影響があると回答した方

○最も多かったのは、「仕入価格や原材料費の高騰」の 73.3%。
○次いで、「原材料や資材の供給不足」が 9.3%、「売上や受注の減少」が 7.3%となっている。

